

HPV ワクチン



対象者: 小学校 6 年生～高校 1 年生の女子

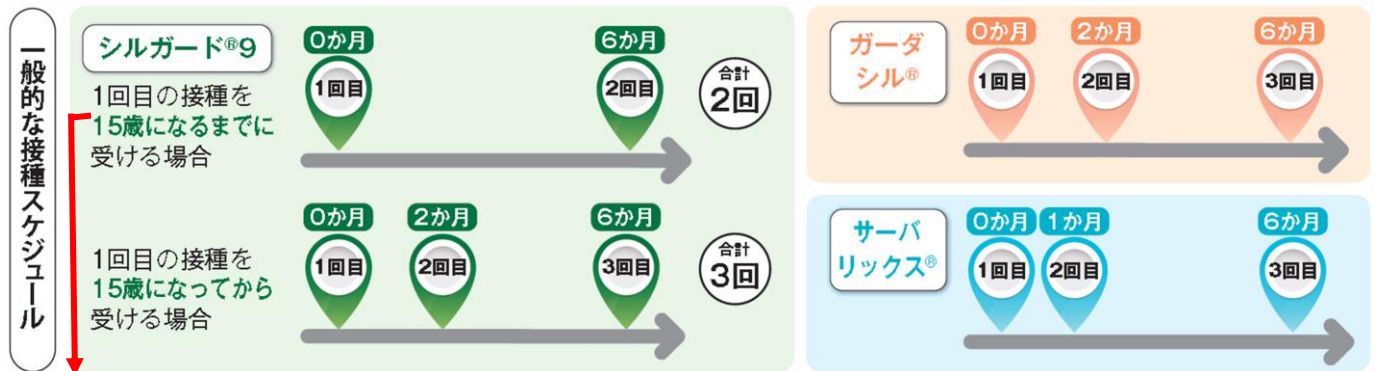
子宮頸がんとは

乳がんについで、若い女性に 2 番目に多いがん

女性の子宮の入り口付近にできる「がん」で、日本では 20～40 代の女性を中心に毎年約 1 万人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約 2,900 人が亡くなっています。また、子宮頸がん患者の 9 割近くで子宮摘出等の手術や抗がん剤治療が必要になり、子どもを産むことができなくなる方も少なくありません。

子宮頸がんの 95%以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるもので、HPV が長期間にわたり感染することでがんになると考えられています。なお、HPV は一般に性行為を介して感染することが知られています。17 歳未満で HPV ワクチンを接種すると子宮頸がんの 88%を防ぐことが報告されています。

< 予防接種スケジュール > ※接種開始の年齢で回数が決まります。



※2 回目接種までの期間が 5 か月未満の場合、3 回目の接種が必要になります。接種間隔には決まりがあります。余裕をもって接種スケジュールを立てましょう。